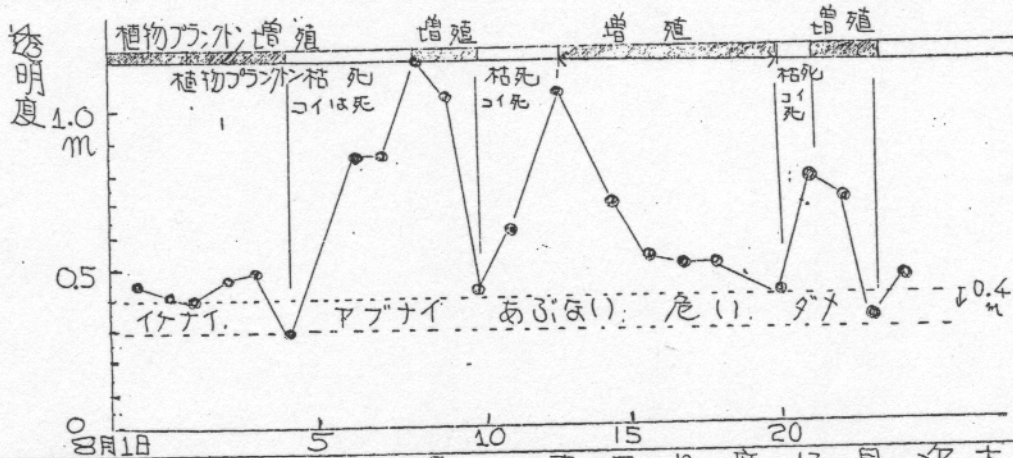


内水試 かわらばら

No.

酸欠対策予知

透明度の測定方法は、5m程度のズ
たとわりですが、この値をどのよう
に利用して予知に結びつけていくか
について考へてみましょう。昨年の
透明度を因にしますと、次のように
なります。透明度は普通比較的に
定していますが、昨年の例では山谷
がひんぱんはあつた。コイは酸欠
で死んでいます。逆に下りでは死ん
でいません。上りは、水が透明にな
る。植物が枯れていく段階で、枯
れる植物の量が昨年のように大き
い場合、酸素を使い酸欠がおこります。
コイのへい死と、上り坂が一致し
ているのはこのためです。しかし、



透明度 1.0 m
0.5
0.4 m
0
5月1日 5 10 15 20

植物プランクトン増殖
枯死コイは死
危険
アブナイ
あぶない
危い
危険

透明度のグラフを因示し、「下り坂」が
0.4mに達しそれ以下にさがれば「危
険」といふことになりす。

「下り坂」が0.4mになったに危険
に変わるの何時かこのようにです。

大変、むづかしいことですが、簡単には
次のように考へましよう。グラフを
見てわかることは、0.4、0.3mで「危
険」にうつっていくことです。0.4mに透明
度が低下すると光の透過がわるくな
り、それ以上プランクトンは繁殖で
きず、枯死し「木変り」がおこりま
す。この限界点は、プランクト
ンの種類にかまも異なるもので、6
月前には、0.5、0.7mでの「危険」な
が多いうです。しかし、この期間
は現在のところ水温が低く、極端
に酸素がなくなることは考へられませ
ん。かう、0.4mを限界と考へて「危
険」つかえありません。したがって、透
明度のグラフを因示し、「下り坂」が
0.4mに達しそれ以下にさがれば「危
険」といふことになりす。

おかしな感じが、あつた
せんか。

昨年の5月下旬から異常な
現象がみられました。ワカサギの
不漁、ドロのまじり、ワカサギの河
川への湖上等がそれで、これら
が、コイへい死のまえに、これら
うに見えました。酸欠の予測にな
るかもしれせんから、異常は
小さいことでも当水試に連絡し
て下さい。これまでに、連絡さ
れた事例としては、
北浦におけるエビ藻の繁殖
とくに神宮橋附近。
大野一江川間におけるエビ
棲息場の変化。
です。

水質
5月8日から植物
プランクトンが枯れは
じめました。

